

平成28年 5月 17日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科に、急性心筋梗塞で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査 (JAMIR後ろ向き研究)

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学循環器内科学講座 教授 赤坂 隆史

3. 研究の目的

日本最大の急性心筋梗塞患者の登録研究(JAMIR)を作成し、日本の急性心筋梗塞診療における現状および問題点を明らかにすることです。

4. 研究の概要

(1)対象となる患者さん

急性心筋梗塞の患者さんで、平成23年1月1日から平成25年12月31日までの期間中に、急性心筋梗塞の診断で入院された患者さんです。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者背景に関する情報(年齢、性別、搬送手段、入院日時、ST上昇型心筋梗塞かST非上昇型心筋梗塞か、心不全の合併を示すKillip分類、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙)や治療に関連した項目(緊急冠動脈造影の有無、病変部位、再灌流療法の有無、再灌流日時、治療開始までにかかった時間、再灌流後の血流の程度を示すTIMI分類、大動脈バルーンポンピングの使用の有無、経皮的人工心肺の使用の有無、冠動脈バイパス術の有無)です。

(3)方法

当講座にて、対象患者におけるデータを収集します。収集したデータについて、匿名化の対応を行い、匿名化されたデータのみを主任研究者(国立循環病研究センター)に送付します。主任研究者は送付された各施設のデータを統合して解析を行います。参加施設は、日本の約12施設です(今後増える可能性があります)。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除

外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科学講座 担当医師 猪野 靖、山口 智由

TEL:073-441-0621 FAX:073-446-0631

E-mail:ty-circ@wakayama-med.ac.jp (山口)